

## 令和元年度八丈島一般廃棄物管理型最終処分場運営協議会 議事録(要約版)

1 日 時 令和元年11月21日(木) 午前10時から12時30分まで

2 場 所 八丈島一般廃棄物管理型最終処分場管理棟内会議室

3 参加委員 全委員15名中、出席委員11名、欠席委員4名

### 4 議事内容

- ① 座長による開会
- ② 東京都島嶼町村一部事務組合事務局長の挨拶
- ③ 各委員の紹介
- ④ 議事内容の報告

処分場の管理者である一部事務組合の委員から、配布資料1-1から資料4-7を用いて、以下の(1)から(4)についてについて報告がなされた。

- (1) 焼却灰の埋立実績について
- (2) 水質検査結果について
- (3) 設備保守状況について
- (4) ご質問及びご要望に対する回答について
- (5) その他

委員の間で以下のような論点につき、意見交換が行われた。

#### <遮水シートの安全性等について>

委員：大雨時における埋立地への一時的な内部貯留による水圧の影響が心配だ。遮水シートの耐圧は十分か。また、その具体的な数値等を提示するべきではないか。

事務局：焼却灰等を埋立地が満杯になるまで入れる設計となっているので問題はない。遮水シートの詳細資料を閲覧できるよう配備する。

委員：遮水シートの点検が目視だけでは不安だ。電気式漏水検知を使った調査を行ったほうがより安心ではないか。安心安全の観点からすれば、二重にチェックをしたほうが安心できる。

事務局：電気式漏水検知を使った調査は、遮水シートに穴が開いた際、どこに穴が開いたか調査するものだが、日頃の点検とモニタリングシステムに加えて実施を検討したい。また、実施する期間も併せて検討する。

委員：八丈町の焼却施設視察において、焼却灰中に多くの金属が混入しており、手作業で除去していた。八丈町以外の町村の焼却灰は大丈夫なのか。異物による遮水シート破損防止の取り組みはどうなっているのか。

事務局：八丈町以外の町村にも異物除去をお願いしている。また、遮水シートの上に保護土を50cm覆土し、さらに異物の混入がない飛灰を保護土の上に埋め立てる管理方法を行い対策としている。

#### <大雨時の対策について>

委員：近年の異常気象もあり、雨時における埋立地への一時的な内部貯留には不安がある。貯留があった時には情報を共有しておくことが大事ではないか。また、もう一步踏み込んだ対応というものを作っておくべきではないか。

事務局：管理上の調整であり問題があるとは考えていない。委員への連絡については、緊急時に絞って対応する。また、個別にお問合せいただければお答えする。

委員：埋立地外周道路等から土砂や雨水の埋立地への流入はないのか。不必要な流入は防ぐべきではないか。

事務局：土砂はないが、埋立地外周道路等から若干の雨水の流入は生じるところである。

#### <地下水モニタリング機能について>

委員：(建設時)当初の説明では、地下水集水管から集められた地下水等の水質をチェックすることで漏水検知とすると聞いていたが、結露水しか出ていない。構造的に周りから水が入ってきてくるはずであり、地盤改良の影響により水が出なくなったのではないか。今の説明では水は出ないこととなっており、説明が次々変わることによって不安を覚え心配が拭えない。

事務局：遮水シートに損傷がない限り水は出ない仕組みとなっている。異常時に迅速に発見できることと、汚水を回収しやすい利点がある。モニタリング井戸に加え、地下水ピットでもチェックできる説明に変わりはない。

#### <土砂災害警戒区域指定の対応について>

委員：土砂災害警戒区域の指定を受けて対応をどうするのか。

事務局：避難体制の整備、訓練等、ソフト面での対応を強化し対策とする。

#### <その他>

委員：運営協議会開催日が、平日の午前中では来られる方が少ないので検討すべきではないか。

事務局：委員一人ひとりの日程調整は困難であるため、今まで通りの日程でお願いしたい。また、公務として実施しているのでご理解いただきたい。

委員：以前、住民参加で行った電気式漏水検知の試験で、測定機器がうまく作動しなかったが原因は何か。その後の具体的な対策が重要ではないか。

事務局：調査する。

### ⑤ 施設見学

管理棟での会議が終了した後、視察を希望する委員が埋立処分地を視察した。

以上